

昭和六十二年三月十五日発行

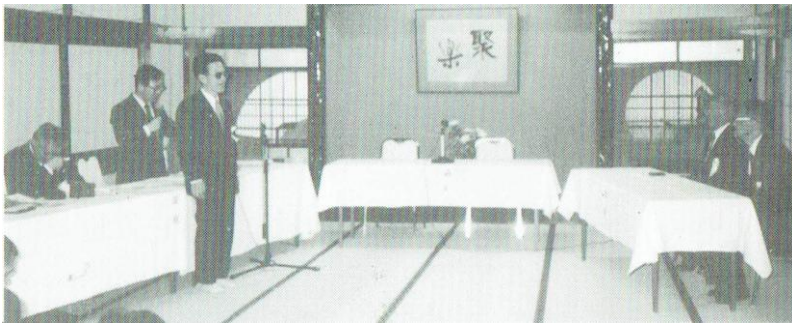
# 会報

第十九号

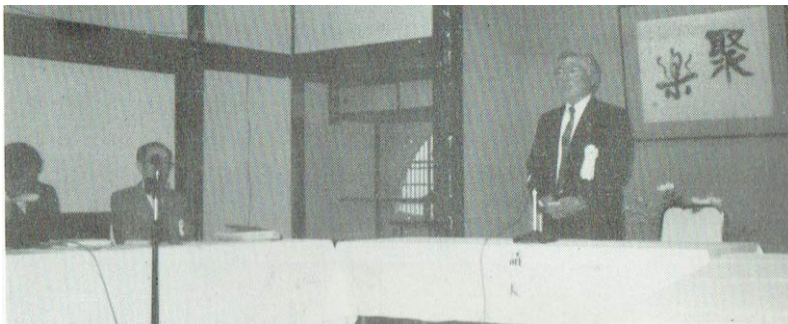
社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

あいさつ .....	石川理事長 .....	1
会員調査表 昭和61年12月31日現在 .....		3
会員の年齢構成表 昭和61年12月31日現在 .....		4
県鍼灸師会 昭和61年度日誌 .....		5
昭和61年度 定期総会 .....		6
第40回昭和61年度東鍼連総会宮城大会 .....		8
レポート 学術講習会 .....	常務理事 大野 六雄 .....	9
レポート 第12回日東医学会学術大会石川大会 .....	越本副理事長 .....	11
全鍼師会への資金カンパの報告 .....	猪ノ口会計部長 .....	14
岩動道行先生逝去される .....		14
会員死亡 .....		15
岩保会 .....		15
(社)岩手県鍼灸師会 .....		17
業団の動き・全鍼師会・日鍼会 .....		17
全国師会長会議 .....		21
師会だより 盛岡・花巻・北上和賀・胆江・一関・気仙・釜石・宮古・久慈 .....		22
<b>MEMO</b> .....		28
編集後記 .....		30

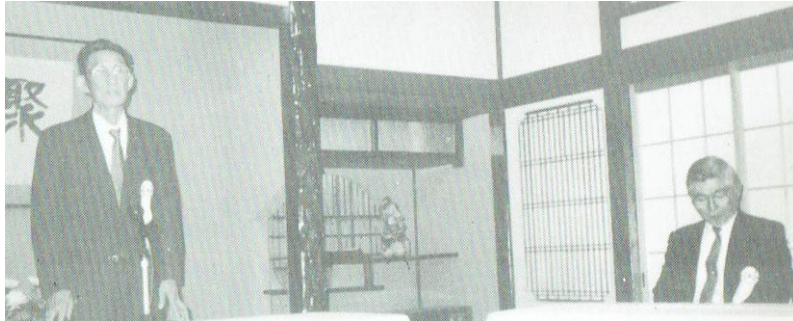
昭和61年度定期総会・湯本温泉で開催さる  
5月17日 ホテル対滝閣で



挨拶する八重樫北上・和賀師会長



祝辞を述べる菅原湯田町長



祝辞を述べる大内旅館組合長

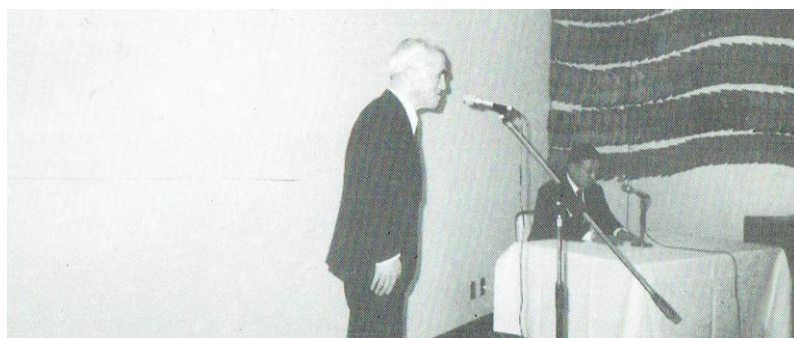


挨拶する石川理事長

おめでとう 一関師会創立70周年  
4月27日 晴れやかに式典と祝賀会



祝辞を述べる及川一関市長



祝辞を述べる菅野盲協理事長



祝辞を述べる石川理事長



表彰を受ける工藤六雄氏

## あいさつ



石川理事長

会員の皆様には益々御健勝のことお慶び申し上げます。

会報も号を重ね十九号誌を発刊する運びとなりましたことは、偏えに皆様方の御支援御協力の賜ものと深く感謝いたして居ります。

六十一年四月二十一日厚生省より、はり・きゅう施術の円滑な実施を図るため全国統一の同意書と期間が三ヶ月延長になったことが発表され、更に四月二十三日付で日本医師会長より都道府県医師会長に、はり・きゅう施術に関する同意書について申し出があった際には、適切な御協力をお願い申し上げますと通達があり、施術回数も六十五回となり実施し易くなりました。又これについて四月三十一日付で、岩手県医師会長より郡市医師会長にこの事が伝達されております。

五月十二日・十三日に、全鍼師会定期総会と政治連盟総会が永田町の自由民主党本部で開催され、前記保険関係の報告と関口恵造参議院議員候補の後援についてでした。全鍼師会の執行部の御努力ありがとうございます。

五月十七日には、県鍼灸師会の総会を北上和賀師会のお世話で、湯本温泉対滝閣で開催され盛会でした。八重樫会長さん、南川前会長さん御苦労様でした。

六月三日、石川と井上岩手県鍼灸師会長、大友氏と三人で県保険課医務課並に岩手労働基準局労災保償課に行き、前記保険関係と労災保険の指導を頂き、つづいて六月十日、県医師会館で三浦県医師会長に石川、井上氏と同意書の件についてお願いしました。又その後各郡市医師会長にお願いする文書を各地区責任者に発送しております。

七月六日、東鍼連総会並に創立四十周年記念式典が宮城県秋保温泉ニュー水戸屋で開催され岩手より二十一名参加、この席上、全鍼師会長より表彰状を頂き、尚、五名の方が東鍼連会長表彰を頂きました。

七月六日、衆参両議員選挙で鈴木善幸先生が当選され、参議院では関口恵造先生、高橋清孝先生が当選され、皆様の御支援ありがとうございます。

又、六十二年五月に行われる全鍼師会創立四十周年記念式典カンパをお願いしましたが、全会員より御協力を頂き全鍼師会に送金致しました。ありがとうございます。

八月二十三日、労災保険指名施術所再指名申請書を提出しましたが、コンピューターに入れるため更に、九月八日指定指名機関登録報告書を提出しました。

九月十四日、県学術講習会が盲学校で増田次郎先生の講師で開催され、腰痛の診断治療、その他テーピングについてでした。

十一月二十九日、全国師会長会議が自民党本部であり、保険治療の実施促進についてでした。

一月二十五日、本会顧問岩動道行先生が突然亡くなりました。二十六日、岩動事務所に御焼香に

行きました。業界のことに御理解を頂き、これから本当に御活躍を期待して居りましたが残念でなりません。謹んで先生の御冥福をお祈り致します。

昨年、勲五等瑞宝章を受章された、青森県師会長亀田多三郎先生が、二月五日に糖尿病のため亡くされました。謹んで御悔み申し上げます。

以上、経過報告になりましたが、保険治療の窓口が開かれました。今後は、これを推進させて頂き、岩手の業界に花を咲かせたいものと思います。

- 2 -

## 会 員 調 査 表

(社) 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

昭和 61 年 12 月 31 日現在

師会名	1 会員数	2 女性会員数	3 自営業の会員数	4 施設及び病院に 勤務の会員数	5 業者を雇い入れている 自営業者数	6 休会している会員数 ( ) は病気		7 高令会員数(七〇歳以上)	8 家族二名以上で 自営している会員数	9 使用している文字	
										墨字	点字
盛岡	46	15	27	16	3	1	(1)	4	2	11	35
花巻	14	4	14	0	0	0	(0)	2	1	4	10
北上・和賀	13	5	13	0	0	1	(1)	1	0	2	11
胆江	24	9	21	3	0	0	(0)	5	0	9	15
一関	14	1	13	1	1	2	(2)	3	2	5	9
東磐	4	0	3	1	0	0	(0)	1	0	0	4
気仙	10	2	10	0	0	0	(0)	0	0	3	7
遠野	3	0	3	0	0	0	(0)	1	0	0	3
釜石	7	1	7	0	0	1	(1)	0	1	3	4
宮古	18	5	18	0	0	3	(2)	1	1	7	11
久慈	5	2	2	0	1	0	(0)	0	0	0	5
県北	14	2	14	0	0	1	(1)	2	0	4	10
合計	172	46	145	21	5	9	(8)	20	7	48	124

- 3 -

## 会 員 の 年 齢 構 成 表

昭和 61 年 12 月 31 日現在

年代 師会名	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	小計
盛岡	0	10	16	11	9	46
花巻	0	0	2	6	6	14
北上・和賀	0	2	3	2	6	13
胆江	0	3	6	6	9	24

一 関	0	2	3	3	6	14
東 磐	0	1	0	1	2	4
気 仙	0	1	3	5	1	10
遠 野	0	0	1	0	2	3
釜 石	0	1	3	2	1	7
宮 古	1	3	0	7	7	18
久 慈	1	1	2	0	1	5
県 北	1	0	4	4	5	14
合 計	3	24	43	47	55	172

－ 4 －

## 社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 昭和六十一年度 日 誌

- 61・5・17 昭和61年度定期総会を午後二時三〇分より和賀郡湯田町湯本・ホテル対滝閣に於いて開催（参加者五四名）
- 6・3 法人現状報告書を知事宛に提出し受理される
  - 6・17 花泉町で老人福祉治療制度について請願が町議会に於いて採択される
  - 7・7 昭和61年度東鍼連総会宮城大会が午後一時より秋保温泉「ホテル・ニュー水戸屋」に於いて開催され本会より、二十一名が参加する。創立四〇周年記念式典では、永年に亘り功労があった会員の表彰式が行われ本会より、越本政男・下佐征昭・三沢五郎・菊地安夫・佐々木吉男の五氏が表彰され、また、石川理事長が全鍼師会・会長表彰を受ける。
  - 7・15 全鍼師会創立四〇周年記念事業カンパの協力についての文書を各師会長宛に発送する。
  - 9・7 昭和61年度第一回常務理事会を盛岡市内に於いて、午前十一時より開催・定期総会の処理案件等を審議する。
  - 9・14～15 県盲協と共催で三療学術講習会を県立盲学校に於いて開催する。講師・増田次郎氏。テーマは腰部下肢痛の臨床と実際ならびに固定方について。
  - 11・8 事務打合わせ会を盲人ホームに於いて開催。市内在住の常務理事の参集で定款・内規等を協議する。
  - 11・9～10 石川県金沢市・金沢文化ホールに於いて開催された日東医学会学術大会第十二回石川大会に越本副理事長参加する。
  - 11・29 東京永田町自民党本部に於いて開催の全国師会長会議に、石川理事長出席し健保問題について学習する。
- 62・1・10 昭和61年度第二回常務理事会を盛岡市つなぎ清瀬旅館に於いて開催。62年度定期総会提出議案並びに理事会・定期総会開催についての日程等に就いても審議する。
- 1・25 本会顧問で参議院議員岩動道行先生が午前十時一分、東京・東邦大学医学部附属大森病院に於いて急性心筋硬塞のため逝去される。
  - 1・26 石川理事長、岩動盛岡事務所を弔問する。
  - 2・6 五日・亀田青森県師会長死去のため弔電を発信。
  - 2・15 午後一時より盛岡市・総合福祉センターに於いて開かれた（仮称）岩手鍼灸柔整専門学校設立を阻止するための期成同盟会結成大会に、石川・越本・下佐の三名が出席する。

－ 5 －

## 昭和六十一年度定期総会 湯本温泉で開催

五月十七日午後二時三〇分から、古き温泉（いでゆ）の里・湯本温泉・ホテル対滝閣に於いて開催されました。

北上・和賀師会の皆様の暖かい「もてなし」に出席者一同・温泉（いでゆ）の里の情緒を心ゆくまで味わいました。北上・和賀師会の皆様、ほんとうに御苦勞様でした。有難うございました。

## 昭和六十一年度 定期総会・議案書

日 時 昭和六十一年五月十七日（土）午後二時三〇分

会 場 和賀郡湯田町湯本・ホテル対滝閣に於いて

進 行 下佐征昭

会員総数 一八三名 出席五十四名 ほか委任状

右記の通り定足数に達しているので総会を成立となる。開会に先だち物故会員へ三分間の黙禱を行う。定刻通り開会する。

1. 開会の辞 地元である北上・和賀師会長 八重樫昭則
2. 理事長挨拶 理事長 石川文治
3. 来賓祝辞 湯田町長 菅原信夫 殿  
地元旅館組合長 大内 巖 殿
4. 祝電披露 社会福祉法人・岩手県盲人福祉協会理事長 殿
5. 議長選出の件 進行の下佐氏より選出方法に就いて諮る  
「執行部一任となり協議の結果・北峰忠志と決定、北峰氏議長席に登壇、就任挨拶のあと記録人に大川イト氏・署名人に大野六雄・鞠子栄の両氏を選任し議事に入る。

### 議 事

第一号議案 昭和六〇年度各部報告承認を求める件

#### 1. 会務報告 石川理事長報告

- (イ) 全鍼師会に於いて顧問議員団が結成され本会顧問の鈴木善幸先生が会長に就任された。  
また、昨秋に現参議員議員岩動道行先生に本会の顧問になって頂いた。
- (ロ) 昨年五月には厚生大臣表彰を頂きましたが、これは会員各位の御尽力によるものと心より御礼申し上げます。
- (ハ) 第三十九回昭和六〇年度東鍼連総会岩手大会開催については、六十二名の参加を頂きまして大会を成功させることが出来ました。
- (ニ) 盲人福祉協会と共催で筑波大学名誉教授・芹沢勝助博士をお呼びして学術講習会を行いましたが多数の参加がありました。

- (ホ) 老人福祉治療制度について、一関と釜石の両師会が各市議会に請願した結果、いずれも採択となり一関では六月から実施されることになりました。他の師会でも運動を実施して頂きたい。
- (ヘ) 七月に開催される東鍼連総会宮城大会で、創立四〇周年の祝賀式典に次の五氏が表彰されます。越本政男・下佐征昭・三沢五郎・菊地安夫・佐々木吉男。
- (ト) 会員であり、越本氏夫人のトヨさんが死亡され、五月一日に行われた葬儀に伺がいました。心より御冥福を御祈り申し上げます。越本氏より香典返しとして多額の寄付を頂きました。有難うございました。
- (チ) 全鍼師会創立四〇周年と法人化六周年を合わせた式典を開催するため、会員に一口1,000円の資金カンパが要請されました。九月末までに御協力を御願いたします。
- (リ) 高令と休会の制度について見直す時が来ているので、今後検討する必要がある。
- (ヌ) 予算の関係で点字の会報が発行出来なくなり、声の会報を大川・鞠子のお二人に作って頂き各師会に発送いたしました。

2. 庶務報告 下佐総務部長より別表通り報告

3. 事業報告 越本事業部長より別表通り報告

4. 岩保会について 石川理事長より説明報告する。

(イ) 六〇年度総会で三浦前会長のあとを受けて会長に就任した。

(ロ) 療養費給付払いの制度を活用するため、五種類の文書の綴りを発行した。また、保険取扱いについての研習会を開催した。

理事長自身が取扱った実際について説明される。

ここで、議長より質問を促したが質問なく報告通り承認される。

第二号議案 昭和六〇年度決算報告・猪ノ口会計部長より別表通り報告。つづいて阿部監事より監査報告が行われ、報告通り承認される。

第三号議案 昭和六十一年度事業計画の件 越本事業部長提案説明

会報第十九号発行について従来通り墨字の読める会員のみに配布する。点字版は声の会報とする。以上別表通り可決。

第四号議案 昭和六十一年度予算案の件 猪ノ口会計部長提案説明・原案（別表）通り可決成立する。

第五号議案 昭和六十三年定期総会開催地の件

かねてより花巻師会が担当したい旨の申し入れがあり、花巻市で開催することに決定可決する。

その他では、常務理事会を地方で開催し情報の伝達に寄与すべきだとの会員の声ありその旨に添うべく予算なども検討してみたいと下佐総務部長答弁し、議事はこれにて一切終了。

議長・退任挨拶し降壇。 地元北上・和賀師会副会長、高橋久氏より閉会の辞が述べられ、午後五

時十分閉会する。

記録人 大川 イト

議長 北峰 忠志

署名人 大野 六雄

署名人 鞠子 栄

## 第四〇回 第六十一年度 東鍼連総会宮城大会

日 時 昭和六十一年七月六日（日）午後一時  
会 場 仙台市秋保温泉 ホテル・ニュー水戸屋  
岩手県からは二十一名が参加する。

大会は創立四〇周年記念式典から始まり宮城師会副会長の上野照氏の司会により進められた。

式典は川村会長の挨拶のあと、永年に亘り功労のあった会員の表彰式が行われ、岩手からは越本、下佐、三沢、菊地（安）、佐々木（吉）の五氏が表彰された。続いて、関野全鍼師会長表彰が行われ、各県師会長に受与された。

このあと、自民党愛知和男代議士を始め、三塚前運輸相・知事代理・県議・関野全鍼師会長より各々祝詞が述べられ、祝電披露があり、表彰者代表として山形県の門脇五郎氏が謝辞を述べたあと、鈴木福島師会長が閉式の辞を述べ式典は終了する。式典終了後一〇分間の休憩の後、総会に入る。

### 第四〇回昭和六十一年度総会

上野宮城師会副会長の司会により進行され、歓迎の言葉、川村会長の挨拶のあと、来賓の関野全鍼師会長が挨拶されたあと代議員の確認が行われる。本会からは越本・三沢の両氏が代議員となる。

議長団の選出では小松（宮城、）山本（福島）を選出。議長団就任あいさつのあと記録人に田中三雅、署名人に上野照の両氏を決め（いずれも宮城）議事に入る。

#### 議 事

1. 会務報告 川村東鍼連会長報告
    - 1 師会長会議
    - 2 学術講習会
    - 3 岩手大会
  2. 六〇年度事業報告 高橋佑好氏
  3. 昭和六〇年度決算報告 高橋佑好氏
  4. 監査報告 石塚秋田県師会長
- 以上、報告通り承認される。
5. 六十一年度事業計画案について 川村会長提案説明
    - 1 創立四〇周年式典の開催
    - 2 全鍼師会創立四〇周年記念式典開催のために募金への協力、

— 8 —

本日の師会長会議に於いて、各県師会長が五万円（五〇口分）を出資する旨の決議を行った旨を報告する。

6. 昭和六十一年度予算案の件、原案通り可決
7. 各県提出議案

#### イ 無免許取締り方法について（青森）

何か新しい方法があったら教えて下さい……に対して、関野全鍼師会長は、厚生省に再三に亘り取締りについて陳情しているが法律がないということで、先ず法律の改正が必要である。

また、知事免許有者は、待合室等に免許証を表示することも一方法である。また、外からも分かるように、ステッカー等もよいのではないかと、全鍼師会で検討していると答える。

ロ 毎年知事が実施している。鍼師・灸師・あん摩師・指圧師資格取得試験について（秋田）  
せめて看護婦国家試験のように全国一律に実施してもらいたい。これを厚生省に要望するとい  
うことを提案する。これに対し、関野全鍼師会長より全鍼師会でも法律改正案として作成中  
であると答える。

質疑では、鍼灸では同意書の期限が三ヶ月延長されたが、マッサージについても延長させる  
よう全鍼師会では運動しているのか（青森）

昨年度提案の業界の実態調査について行われているのか（秋田）

これに対し各県師会長（秋田を除く）実施していないと答える。

8. 第四十一回六十二年度総会を福島県で開催することを決定する。

9. 任期満了に伴う役員改正について。全員留任と決定。川村会長就任挨拶のあと上野宮城県副会長  
より閉会の辞を述べ閉会。続いて三〇分に亘り関野全鍼師会長の講演が行われた。

## レポート

### 学術講習会記

常務理事 大野 六雄

日 時 九月十四日（日）・十五日（月）

会 場 岩手県立盲学校

講 師 増田 次郎先生

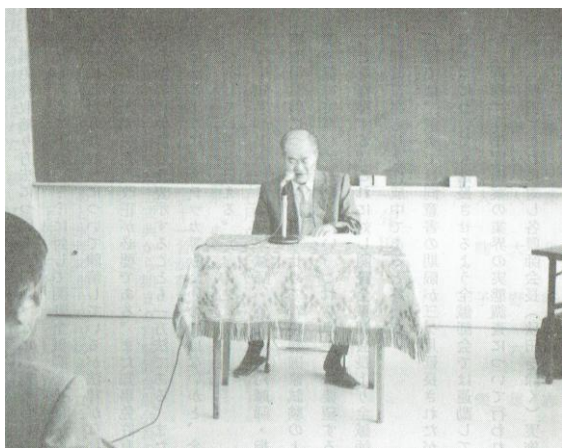
講 演 「三療の臨床・主として腰痛症の臨床と固定法について」

今回もまた県盲協と共催で行われた。

腰痛症といっても腰部のみを対象とせず骨盤、殿部、下肢を総合一体として考えなければなら  
ない。腰痛の原因は、今もってハッキリした事は言えない。しかし、一番大切なことは脊椎の機構を頭  
に置いて診断・治療にあたる。即ち、脊椎の前方は体重を支える処、後方は運動の方向を定める場所  
である。

腰痛の場所の部分は殆んど後縦走靭帯・神経根・神経・コウマク・関節を支えている靭帯の近辺に  
痛みの場所があると見られる。痛みにも静的腰痛・動的腰痛の二種に分けられる。

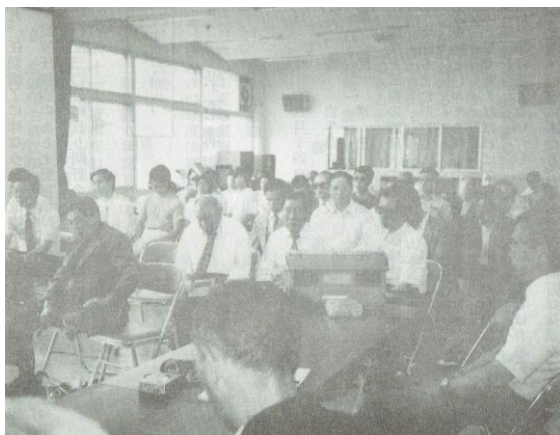
— 9 —



講演する増田次郎先生

そして、脊柱と骨盤とのバランスが崩れる姿勢状態の場合に多く痛みが起きる腰痛といえ、主に椎間板ヘルニア・分離症・捻り症・靭性変形症・或いは腫瘍によるものが多いとされている。

内科的には腎盂炎・腎石・婦人科疾患からも腰痛が出てくる。注意して治療にあたらなければならない。椎間関節症（ギックリ腰）に対する治療・寸三の三番で腰仙部の孔穴部・圧痛点・過敏点に静かに行ない、経穴に無い大転子点、大転子と腸骨の上後腸骨棘とを結んだ中間点。



受講する会員

— 10 —

もう一つは坐骨点と大転子と尾椎を結んだ中間の下、一寸の処に鍼を刺し、下肢に放散痛がある場合に、電気鍼で胞背穴と条口穴を結んで一ヘルツ強の刺激で行ない、また上髌穴と殷門穴を結んで行う。

慢性症の場合、インターバル歩行をやらせる。二、三分大股で歩き、疲れたら、ゆっくり歩き、また急ぎ足で、それを繰り返す事が腰と骨盤と足のバランスが良くなり効果がある。仰向けにして左右の膝を曲げ、片方あるいは両方いっぺんに胸につくように上げさせる。亦是膝を立ててアゴを引き腰を浮かせる状態を繰り返す。この運動を下半身の鍼・マッサージの後に行わせると効果が倍加する。

三療家として成功するためには、次の三つの事を心して励むことが大切である。一つは技術的に秀れた専門家であること。二つは人間関係を、うまく持ってゆく人格者であること、もう一つは、あらゆる面に応用工夫が出来るアイデアマンであることを心がけて努力する事が成功の道につながると結んだ。

◎ 固定法は実技を以って学び、明日への治療に大きく役立つ学術講習会になった。有難く感謝いたします。

## レポート

### 日本東洋医学系物理療法学会学術大会 第十二回石川大会に参加して

副理事長 越本 政男

加賀百万石の城下町、泉鏡花や徳田秋声等の文豪が育った街、そして私の好きな街、金沢市・金沢文化ホールに於いて十一月九日（日）・十日（月）の二日間に亘り日東医学会第十二回石川大会が開催され参加した。今回のテーマは疾病構造の変遷と東洋医学の対応。



開会式、挨拶する関野学会長

— 11 —

大会第一日目の九日は、開会式のあと九時三〇分より、一般口演六席のあと特別講演として水島典明国立療養所金沢岩松病院長の「心身症—その成立と病型」。あとに学会評議員会をはさんで一般口演八席。最終にシンポジウムとして「経絡及び経穴の現代医学的解釈—反射及びホメオスタシスの立場からの考察」が、司会者に西条一止筑波大学助教授、パネラーに長尾栄一筑波大学講師、南外弘金沢市泉野保健所所長、和田清吉関西鍼灸大学助教授の三氏。以上で一日目の日程を消化し、この後、文化ホール別館で楽しい懇親会が催された。

大会二日目の一〇日は、午前九時から一般口演七席、特別講演として高木博司京都大学薬学部教授の「内因性鎮痛物質と鍼灸」。この間は学会総会をはさみ、続き関野光雄学会長の「中国の臨床医学における東洋医学系物理療法の現状を視察して」と、村山良介東邦大学教授の「慢性疼痛と鍼灸」の特別講演が今大会の掉尾（ちょうび）を飾った。

◎ 今大会では皆さんにお伝え出来る簡便な臨床発表が有りませんでした。

東京の伊藤孝氏は僅か七例に過ぎないが、子宮筋腫に鍼治療を行ない、手術を行なわなくても済むまでの効果を挙げたと発表された。鍼治療で子宮筋腫を取り除けば、手術後に起る障害もなく、性的行為にも支障が無いとの事で、これ等の患者の主治医は鍼治療後におけるレントゲンの結果を見て一様に驚き、何をしたんだと不思議がって居たと言う。

尚、治療法は難かしいものではない。今秋発刊される学会誌を御期待下さい。

次に、関野学会長の特別講演「中国における東洋医学系物理療法の現状を視察して」の中から注目すべき点について紹介しよう。

中国では現在、西洋医と鍼灸師の身分が全く同等であることが羨ましかったとのこと。

— 12 —

また、中国では盲人は鍼灸師に相応しくないとかで此の職業には就いていない。有能な盲人だけがベルトコンベアーに乗って流れ作業に従事している程度で、盲人の職業は確立していないようだ。

「すいな」、わが国でいう按摩のことだが、此の職場にも見かけなかったと言う。街で盲人の「コジキ」を見て驚いたと言う。わが国の盲人には幸いなコトに鍼灸マッサージが与えられていて、盲人は恵まれているが、ウカウカしていると将来、日本でも此の様な光景を見るのではないかと思ひ心すべきだと述べられた。



### シンポジウム

- ◎ 学会評議員会では、一万数千人を数える会員を持つ全鍼師会唯一の此の学会への登録者が五百を切って居る現状では、学会の将来が案じられるので、各師会は会員増加に努力して欲しいとの要望が出された。当面の対策としては、せめて各師会の執行部役員だけでも登録する様にとこの要望が決議された。
- ◎ 大会前日の十一月八日（土）午後一時から四時までワークショップが催された。Aグループは「経絡治療の理論と臨床の実際」、指導助言は福島弘道氏。Bグループは「3S療法の実際」、指導助言者は宮村健二氏。Cグループは「特殊手技療法とその臨床」、指導助言者は関野光雄氏。私は此の催しには参加しなかった。
- ◎ 開会式には石川県知事本人、また衆参両議員本人多数出席する等、昨年は全鍼師会総会と夏には全鍼師会青婦人部大会を開催する等、石川県師会の旺盛な意欲には敬意を表する。尚、大会の参加者は六百余名、些か少ない。これは若しかしたら昨春より金沢、金沢と催しが続き過ぎたせいもあるのでは…。



会場玄関前で左より越本、御本全和歌山県師会長

- ◎ 金沢の街中では紅葉が見頃で大会二日目から金沢特有の雨模様となり、帰途は雨の北陸路の旅となった。  
六十二年度の第十三回大会は静岡県で開催される。

## 全鍼師会創立四〇周年 記念式典挙行のための資金カンパの報告

胆 江 七三、〇〇〇円  
東 盤 三三、〇〇〇円  
県 北 一三、〇〇〇円  
久 慈 四、〇〇〇円  
北上和賀 一二、〇〇〇円  
盛 岡 五〇、〇〇〇円  
釜 石 三七、〇〇〇円  
宮 古 一二、〇〇〇円  
気 仙 六、〇〇〇円  
合 計 二六七、〇〇〇円

### 三口以上拠出された会員名と金額

五〇口	五〇、〇〇〇円	石川 文治 殿
三〇口	三〇、〇〇〇円	越本 政男 殿
三〇口	三〇、〇〇〇円	千葉 健一 殿（東磐）
一〇口	一〇、〇〇〇円	下佐 征昭 殿
三口	三〇、〇〇〇円	上田 博也 殿（釜石）

御協力誠に有難うございました。

会計部長 猪ノ口 富蔵

## 本会顧問の参議院議員 岩動道行先生逝去される

本会顧問の岩動道行先生が一月二十五日午前一〇時一分、東京・東邦大学医学部付属大森病院で急性心筋硬塞のため逝去されました。七十三才でした。

先生は此の日、富山市で営まれる故住栄作氏の葬儀に出席されるため、午前七時過ぎ自宅を出発。同七時二十三分頃羽田空港に着き、VIPルームで宮沢蔵相らと挨拶を交しているうちに突然倒れられ意識不明に陥られました。

石川理事長が二十六日夕・岩動盛岡事務所を弔問しました。ご葬儀と告別式が二十八日午後一時より、東京港区芝の木本山増上寺大殿で、ひめやかに営まれました。

本会からも弔電を打ちました。先生のご冥福をお祈り申し上げます。なお、喪主は夫人の麗さん（六〇歳）。



故岩動道行先生

岩動先生は紫波町出身、昭和十四年京都大学法学部卒。大蔵省に入庁され広島税務署長を経て、吉田首相秘書官、主計局主計官、駐英日本大使参事官、東海財務局長を歴任。三十八年の衆院選で初当選。四十三年には参議院に移り、現在四期目。大蔵委員長・党政務調査会副会長を経て、五十八年十

二月に第二次中曾根内閣で科学技術庁長官に就任。現在は自民党総務。財団法人・海外日系人協会理事長、日系新聞協会長を務めて居られます。

尚、一昨年には全鍼師会議員顧問団結成の際には御参加を頂き、更に本会の顧問を御承諾頂きました。先生の御逝去は、本会にとりましては一大痛恨事であります。誠に残念でなりません。

◎ 自民党県連は岩動夫人の麗さんを公認候補とする事を二月八日に決め、二月十八日告示、三月八日の参議院補欠選挙にあたる。

岩動夫人の御当選をお祈り申し上げます。

## 会員死亡



越本トヨさん

越本トヨさん。越本副理事長夫人。昨年三月二十日釜石製鉄所病院に入院加療中の処、四月二十九日、胃癌のため死亡。六十五歳でした。

なお、喪主の越本副理事長より香典返しとして、県鍼按師会に金十万円が寄贈されました。

阿部新治郎さん（北上・和賀師会）

昨年七月八日に上顎癌のため死亡、七十九歳。

心より御二方の御冥福を御祈り申し上げます。

## 岩 保 会

### 六十一年度 定期総会開催 「十五年ぶり同意書の合理化」



石川文治会長

六十一年度の総会は七月二十日（日）午前十時より、盛岡市八幡宮境内にある「さくら会館」に於いて開催された。出席者十七名、委任状三十四名により総会成立。赤崎総務部長の師会により進行。

越本副会長の開会の辞に続き、石川会長のあいさつが行われた。

引き続き議事に入り議長に赤崎幾哉氏、書記に阿部栄子氏、記録署名人に越本政男氏を各々選出し議案審議し、昼食後、大友保険委員長による保険研修があり、午後三時過ぎ閉会した。

## 石川会長の会務報告より

この度、厚生省保険局医療課長の通達により、鍼灸の療養費払いがスムーズに出来る様になりました。これ偏に、皆様の御協力により、中央執行部が一丸となって努力した賜物と厚く御礼申し上げます。現在、岩手県では患者より全額を受取り領収証を出してやる方法ですが、件数が多くなると委任払いが出来ると思いますので一件でも多く取扱って下さい。

次に、今迄の経過報告をいたします。六十一年二月二日保険推進委員会を盲人ホームに於いて開

き、療養費払いに必要な用紙五部作製し、会員に配布することを決め、大友委員長に作製を依頼し、三月十六日、研修会を労働福祉会館で午後一時より開催。出席者二〇名でしたが作製した書類五部を手渡し、大友委員長より説明を午後四時まで頂きました。

四月二十一日、厚生省より鍼灸施術の円滑な実施をはかるため、全国統一の同意書様式が発表され、有効期間が三ヶ月延び、六ヶ月になりました。

続いて、四月二十三日付で、羽田春免日本医師会長より同意書の発行について、鍼灸師会から申し出があった際には適切な御協力をお願い申し上げます。の文書が都道府県医師会長に送付され、岩手県でも四月三〇日付で、三浦医師会長名で各都市医師会長に通達されています。

六月三日、石川・井上・大友の三名で県生活福祉部保険課の医療事務指導官内藤芳明殿、同石岡勇殿に同意書と六ヶ月延長になったことを話し、指導を頂くと同時に岩保会で作製した五部の書類を渡し、次に、医薬課を訪ね同意書を渡して来ました。同日岩手労働基準局にも寄り、浜田療養給付専門官より労災の件につき色々御指導を頂きました。

六月一〇日、県医師会館に於いて、三浦県医師会長に井上氏と二人で同意書の件につき話をし、お願いして来ました。

七月七日、かねてより推薦しておりました鈴木善幸氏と高橋清孝氏が当選され、お祝いに行きました。後日丁寧な御礼状を頂きました。

七月二〇日、さくら会館での定期総会後、郡市医師会長さんに手渡して理解して頂くため、鍼灸新報からコピーした書類と岩保会で作製した書類を綴り合わせて各地区の代表の方に八月一日付で十四地区に送ってありますが、医師会長さんに面会出来た所は、水沢・江刺・釜石・気仙の四医師会で、あとはまだ報告ありませんが、一日も早く医師会を通して面会を申込み、地区郡・市医師会長さんに手渡して頂く様お願いします。

県医師会より通達が郡・市医師会に入っても地元の自分達が行動を起さなかったら何時までも保険での施術は不可能です。各地区のお願いしました責任者の方は、地元の会員とはかって担当の医師会長さんにお会いして、同意書の件につきお願いして下さい。

— 16 —

## (社) 岩手県鍼灸師会活動内容



井上正敏会長

### 1. 学術研修会……症例検討会

① 昭和六十一年八月二十四日（日）午前一〇時～午後三時

「膝関節症」について

② 昭和六十一年十一月二十三日（日）午前一〇時～午後三時

「五十肩」について

③ 昭和六十二年二月二十二日（日）午前一〇時～午後三時

「腰痛」について

いずれも午前一〇時～一二時迄は医博・今村伸二先生の特別講演があります。

④ 昭和六十二年五月・「高血圧」の予定です。

以上

学術部長 赤崎 幾哉

## 業団の動き

### 三療綜合専門団体への飛躍の願いをこめて

#### 六十一年度 全鍼師会総会

五月十二日（月）午後一時より十三日（火）午後二時の二日間にわたり、(社)全日本鍼灸マッサージ師会の昭和六十一年度の代議員総会、会員総会並びに政治連盟総会が、東京千代田区永田町の自由民主党本部の九階九〇一号室に於いて、全国より八十七名の代議員参加のもとで活発に催された。

冒頭、挨拶に立った関野光雄会長は、……二十一世紀の展望に立った魅力ある全鍼師会…理論と信念に武装された強く、かつ、闘い得る全鍼師会への発展…を合言葉として、六〇年度の事業を強力に推進した結果、多くの見るべき成果を得た反面、猛省すべき弱点を露呈する不本意な恥部もあった。……とかなりきびしい評価を下し、六十一年に期する覚悟の程を示すとともに、関野内閣四期目の最後の一年に全生命をかけて闘う意欲を言外にほめかせながら、多くの新しい事業の計画を発表し、全国会員の自覚と協力を訴えた。

近年、丸みと柔和さが加わりその人格の円熟さに一段と光彩を放つようになった関野会長として

— 17 —

は、意表を突く厳しさと皮肉を込めたものであり、六十一年度にかかる情熱のほとぼしりが感じ取れた。

六〇年度諸事業の中での際立ったものは、全鍼師会顧問議員団の結成であり、八〇余名の衆参議員を擁する力強さは瞠目に値する。従来、全鍼師会の弱点であった政治力と財政力の一つが、この顧問議員団の結成によって補強されたことは確かである。



昭和 61 年度定期会員総会・代議員総会

一方、財政力は相変わらず貧弱であるが、執行部の努力によって、とぼしい予算の中で諸事業を完遂し、六十一年度も会費改定を実施せず取組む姿勢は涙ぐましくもある。(ちなみに、全鍼師会は会員数一万三千人以上でありながら予決算規模は四千八百万円強であるのに比べて、日鍼会は会員数五千九百人弱であるにもかかわらず予決算規模は一億一千八百万円以上である。)

財政力の弱体についての対策として、関野会長は六十二年度に多少の会費値上げを行ない、順次改定を加えて、年額一万円会費の実現を目指したいとの見解を披露していたが、果して、物価の上昇、事業の拡大化に見合った財政基盤が確立できるかどうか疑問である。

六〇年度の事業を総括すれば、「指導者研修会」「青年婦人大会」「第十一回日東医学会」などのメー

ン事業の成功、傘下都道府県師会への協力事業をはじめ、数多くの事業成果は評価すべきものがある。懸案の健保問題も、同意書様式の一部改定を見ただけにとどまったが、一応、評価すべきである。ただ、身分法改正、無免許療術行為者対策などに見るべき成果はなかったが、事柄の内容が一朝一夕に解決できる問題でないだけに、今日までの運動を継続して、今後に処する以外に道はないのではないかと思われる。

以上の通りの事業の報告では、執行部がかかげた六〇年度当初のスローガン通り、たしかに「理論と信念に武装された強く、かつ、闘い得る全鍼師会」の面目は躍如としている。

— 18 —

しかし、一つ、執行部が会員に対する期待と思惑に大きな誤算があった。それは参議院議員比例区において、日本歯科医師会を母体とする関口恵造参議院議員（鈴木派）の後援会名簿作りであった。

関口氏推せんに決定する迄に、多少の紆余曲折があり、非日医系議員に対する疑義や戸惑いを持った地方師会や、お家の事情で積極的支援体制を組めなかった地方師会もあったことと推測は出来るが、それでも、十五万人の後援者名簿を作成し得ると執行部は目算して作業を開始した。しかし、結果は無惨な数であった。期日までに集った名簿の数は、たったの四万三千九人ではしかなかった。（ちなみに日鍼会は六千人弱の会員で、日医系の宮崎候補を提出）

この事実を前にして、物事に動じぬ関野会長が、「むなしさを感じる」と、総会席上で慨嘆していた姿が印象に残った。この無惨な数字が何を語っているかの論議は後日に譲るとして、全鍼師会の弱点は政治力、財政力以外にもあったことを露呈したことになる。

この結果に対する責任を痛感して、佐野秋夫政治連盟委員長は、引責辞任の意志を固めたが、責任は一人委員長が負うべき性質のものでなく、政治連盟役員一同の責に帰すべきことである。従って、役員すべての引責辞任が筋であるが、参議院選挙も間近く迫り、衆議院解散も必至の時期に、役員すべての辞任は、混乱を招くと同時に無責任の謗りも受けるとのことで、全員が留任して、今後の政治決戦に全力投球して、後援会名簿集票の不利、不名誉を挽回することとした。

さて、六〇年度の事業を総括と反省の上に立った全鍼師会の六十一年度に対する姿勢はきわめて積極性に富んでいる。融和、協調、飛躍の三つを三本柱として、「期待に応える全鍼師会……日本を代表する鍼灸マッサージ専門団体への飛躍」と、高々とスローガンをかかげている。

事業の主たるものは、三療業界がかかえる従来からの諸問題への対応であるが、注目に値するのが「全鍼師会一一〇番制度」である。これは会員の福利厚生面を充実させることが狙いであるが、画期的な制度であり、運用の妙を發揮すれば多くの会員に恩恵をもたらすものであることはたしかである。

この制度は、会員が日常生活の中で遭遇する困りごと、たとえば、「法律的な問題」「業界的な問題」「経営的な問題」「その他、もろもろの問題」に対して、弁護士、税理士、その他各分野での専門家が、問題解決に協力して行くものであり、弱い立場の会員が相談相手もなくひとりで悩んで、果ては思いつめて自殺するケースも発生している現代に於いて、もっとも時宜を得た施策であると思われる。

この制度の完全実施のためには莫大な費用がかかるため、今の全鍼師会の単独事業運営は不可能であるので、当面、元受機関として大正海上火災保険株式会社を指定して運営に当るものである。従来全鍼師会が採用していた賠償責任保険制度を拡大充実したものである。（スタートは六月一日からであるが、詳細については山王商事（株）〇三・三六五・〇〇一二へ）

— 19 —

なお、別途所得補償制度も従来より大きく前進したものが八月一日よりスタートされ、会員

の休業補償、冠婚葬祭時の慶弔見舞金等が支払われることとなる。

三療人種は口を開けば「会に入って、なんのメリットがある」とうそぶく。こうした手合いにいくら高邁な精神論を説き聞かせても反応がない。だから、現世利己的な商品を見せて口説く以外に道がないと、全鍼師会執行部が考えたとは言わないが、大変良い事業計画であると思える。

二日間の総会風景を観察してみて、代議員の真剣さと熱意は年々エスカレートしており、全鍼師会発展向上の息吹を感じる。執行部では関野会長、伊藤武男副会長の弁舌がひととき目立ち、まさに、理論と信念に武装された完璧絶妙の名コンビである。

(曲学阿世休載)

## 61年度 日鍼会総会開く

五月十一日(日)十三時～十八時、十二日(月)一〇時～十二時の二日間にわたって、(社)日本鍼灸師会の六十一年通常代議員会、通常総会が、東京千代田区平河町の全共連ビル四階の中会議室に於いて開かれた。

挨拶に立った小川晴通会長は、「和と寛容の協調精神」をもって、話し合いによる問題解決を計りつつ事業を推進し、また、今後もその基本方針を守って、開業鍼灸師の主催を明確に主張しつづけて業権の擁護拡大に努力する姿勢を示し、特に鍼灸の現物給付化への流れに対して、断固阻止する強い意志表示が、温厚篤実なこの人には珍しいことである。

四月二十二日付の同意書様式の改定には、日鍼会の力によるところ大なりとの評価がなされていた。

議題は、会務運営方針の第一号議案から事業報告、決算予算、事業計画など八項目にわたって上程され、いずれも執行部原案が可決承認された。記者の取材が十二日の通常総会であったため、形式的な議事日程の消化のみで、特に印象的な場面もない平穏無事な風景であった。

六十一年度の重点事業は



事業方針を語る小川会長

— 20 —

- (1) 同意書改善の成果と実績向上
  - (2) 鍼灸の普及啓蒙
  - (3) 学術の振興
  - (4) 組織の拡充強化(会員増強)
  - (5) 広報の充実
  - (6) 団体協定締結に向っての基盤調整
- などが挙げられていた。

## 全国師会長会議

石川 文治

六十一年十一月二十九日、自民党本部で午前十一時より全国師会長会議が「健康保険取扱いに関する徹底化」を議題として開催され、山田副会長司会のもとで三十四都道府県参加。

まず、「健康保険の基本理論」として関野光雄会長が、健康保険法は大正十一年に公布され、昭和二年より実施され、療養の給付、現物給付であるが保険医指定のない医師にかかった場合は、四十四条の療養費の支給（療養費払）の規定によって取扱われる所のその他の項に、柔整、鍼灸マッサージが入っている。政府管掌の健康保険は知事が責任をもっている。そして、必要と認めるとき療養の給付に代へて療養費が支給され、これには療養費の変化したものに保険法二十三条並びに国民健康保険法八十二条にある被保険者の健康の保持増進のために鍼灸施術所が指定されると同意書はいらない。これは保険者である市町村長が決定すれば出来る。

委任状は、本人が請求するのがたてまえであるが慣れない本人より団体長に委任する、民法六四三条に委任が認められている。

京都では、年間一億八千万円になって、百人位で取扱って、その五％を事務費にしている。国保は京都で委任払いが実施されている。

次に、「健保運動論」として森谷三次保険局長が、五十九年度全国の保険取扱のアンケートの結果、鍼灸は六、七億円取扱って、一千万円以上は十五県、六県は全然やっていない。全鍼師会会員中二〇％が保険に興味を持っている。

三重県選出の斉藤厚生大臣に

- ① マッサージの同意書を六ヶ月に
- ② 変型徒手矯正術の同意書を三ヶ月に
- ③ 病名のみで出来る様に
- ④ 鍼灸療法師法に療養費給付として下さい。
- ⑤ 一日も早く柔整師並にして医者同意のみで同意書なしでと陳情した。

— 21 —

三重県では、五十一年より個人委任で五百万円、五十二年一千万円、五十三年二千万円と増やして行き、そのやり方を一人一人に教えて現在七〇人程で年間一億三千万円扱っている。対外的には、県保険課に行き了解して頂き、又、国民健康保険課に行つてわかる迄やる。現在は施術者委任払になっている。同意を頂いて三ヶ月たつたら、積極的に医者に会つて後の三ヶ月に同意して頂く様にする。こうすることによって同意書が取り易くなった。医療との併給は不支給である。

不支給のときは、患者にも術者にも理由を文書で教えて頂いている。一にも二にも保険を取扱って見ること。頭で考えていてもわからない。やれるところからやって下さいと話された。

次に、「各種健康保険取扱いの業務」について、伊藤武男副会長が、五十九年度医療費は十五兆二千万円で、柔整九六八億円、はり・きゅう七〇億円、マッサージ三七億円になっており、業者一人で割つて見ると、柔整は月四八万円、鍼灸一万一千円、マッサージは月三千六百元となっている。

柔整は、昭和三十年代に協定があり、医師の同意は必要だが同意書はいらない。保険の関係の課は保険課、国民健康保険課、老人保険課、生活保護課、郡市医師会である。特に、郡市医師会長と保険担当医師と業者の保険担当者が一年一回話し合いをしている。新潟では一億三千八百万円やっている。

以上の説明でしたが、厚生省では、従来は鍼灸の保険治療は否定的立場をとつて来ましたが、六十一年四月二十一日より肯定的立場に変わつて来ました。この際、よくこの事を理解して頂き一件でも多く積極的に取扱って下さい。

## 師会だより

### 盛岡師会

阿部 禎夫

昭和六十一年は、社会情勢の上で波の荒い一年でありました。

衆参同時選挙による自民党圧勝に始まる行政改革の促進（国鉄問題、税制問題等）。そして、円高不況による基幹産業（鉄鉱、船舶、輸出産業等）の不振による国民経済に及ぼす波は高かったように思います。

昭和六十二年度は、その波の影響の現われる年になると思います。良いにつけ悪いにつけ世の流れに漂って沈まないようにお互いに頑張らなくちゃ……。

☆ 六十一年度活動中間報告

五月 総会開催 六十一年度活動方針決定

六月 理事会開催 具体的活動計画検討

九月 老人の日ボランティア活動

— 22 —

①盛岡 一〇名参加 二十四人施術

②日詰 四名参加 五〇人施術

一〇月 「老人福祉の件」で谷藤市議員と懇談

十一月 「老人福祉助成金の件」で盛岡市長に請願

十二月 忘年会開催 スターホテル 十七人参加

以上

### 花巻師会

広報部

今年は、紅葉をゆっくり楽しむ間もなく寒気の訪れが早く、大雪の心配があり、無事に越年出来ることを希って居ります。

各師会の皆様方は本年も三療の道に御活躍、邁進なされたこととお慶び申し上げます。

さて、当花巻師会は、少数にはなりましたが、皆元気です。

年間行事

・総会 吉野屋

・レクリエーション 金ヶ崎温泉

・ディーサービス 老人ホーム

を消化し、新年を迎えようとしています。

これも皆様方の温い御指導の賜と、会員一同感謝致して居ります。

新年早々には、技術向上を計る為一堂に会し、お互い交替で三療の講習を行い、終了後、討論会を開きたいと企画しています。

来年の干支の主人公のように、昼寝して皆様に先を越されぬよう精進して、六臓六腑のツボを得た人生を送りたいと会員一同張り切っております。

## 北上・和賀師会

一九八七年新春 総務部

各師会の会員の皆様には、一九八七年の新春を迎えて益々御健勝のことと存じ心からお慶び申し上げます。

さて、昨年五月十七日（土）県鍼灸師会の定期総会を、北上・和賀地区（湯本温泉・対滝閣）に於いて開催の節は、県本部役員並びに各師会の会員の皆様の御協力により、無事に終了させて頂きました。深く感謝申し上げます。尚、各師会より多額の御祝儀を頂戴いたし、併せて御礼申し上げます。

### 1. 行事

昭和六十一年度定期総会を五月三〇日（金）に市役所通りの食堂「かまど」に於いて開き、県本部定期総会の反省会も兼ねて行いました。

六月十一日（水）北上は北星荘、湯本は九月十六日（火）光寿荘を、各々慰問奉仕活動を午前九時から午後近くまで行ない、午後からは、きたかみ「きくみ寿司」で、湯本は「湯本ホテル」で、それぞれ反省会を行った。

— 23 —

### 2. 会員の消息

当師会最高齢会員の阿部新治郎さんが、一昨年春より入院加療中でしたが、昨年七月八日、上顎癌のため亡くされました。七十九歳でした。心よりご冥福を御祈りいたします。

石川キミヨさん（七十八歳）が、昨年三月末頃より入院加療中です。一日も早い退院を会員一同祈っております。

### 3. 新会員の紹介

多田兼雄さん、及川利郎さんのお二人が、自宅が各々北上市にありますので、花巻師会より当師会に転入されました。

当師会の会長の八重樫昭則さんは、昨年九月二十八日に一人娘のゆかりちゃん（十二歳）を肺癌のため亡くされました。六年前には最愛の奥さんを交通事故で死別されて居り、重ね重ねの御不幸に何とも痛々しく、お慰めの言葉を掛けようもありませんでした。でも、八重樫さんは御不幸にも、「めげず」会務に精一杯取り組んで居られます。

◎ 昨年は芋の子会や忘年会を中止いたしました。六十二年度は、明るく楽しい会務の運営を行ないたいと念願して居ます。

各師会員の皆様、今年も宜敷く御願い申し上げます。これで筆を置きます。

## 胆江師会

師会長 菊地 安夫

なんの記事もありませんで、申し訳ございません。

会員の近況のみをお知らせ致します。

本年度は新入会員一名

水沢市姉体町字林前六〇六

TEL 〇一九七—二六—四二五五

佐藤 富貴子

昭和二十五年五月十九日生 半盲半眼（墨字）

営業所住所 水沢市大町五—十四 及川アパート

TEL 〇一九七—二五—六三三三

高橋 辰雄 会員

胆沢病院入院 内科（十二月現在）

小野寺 松雄 会員

水沢病院入院中 内科（十二月現在）

以上の様子です。

— 24 —

## 一関師会

師会長 北峰 忠志

総務 千葉 謙一

昭和六十一年度、一関師会の会務について総務より報告します。

一関師会としては、今年は特記すべき事が多々ありました。

一、一関師会は、創立七十周年を迎えましたので、四月二十七日正午より、駅前のホテルサンルートに於いて、記念式ならびに祝賀会を行いました。

当日は、来賓として石川理事長はじめ、下佐副理事長、菅野顧問、熊谷東磐師会長、菊池胆江師会長、そして及川一関市長、市議会議員で当師会顧問の岩井清三氏らのご臨席をいただき、創立七十周年にふさわしい記念式典と祝賀会を行ないました。

また、この席に於いて、当師会の功労者として北峰忠志、工藤六雄、鈴木富夫の三氏が表彰を受けました。これに対し、来賓の皆様から師会と授賞者にお祝いの言葉を戴きまことにありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。

尚、越本副理事長におかれては、奥様のご病気になられ、ご臨席を賜わることは出来ませんでした。多大なるご祝儀と祝電をいただきありがとうございました。

二、北上師会のお世話で、湯本温泉で開かれた県師会の総会には、一関師会からは付き添い共七名が参加出席をしました。

三、かねて請願をしていました老人の鍼灸マッサージ料の助成が七月一日より実施に成りました。

助成は一回につき五百円で一人年二回、五百人分が予算に成りました。

しかし、利用者は十一月末で三十人と少なく残念な状態です。これは、補助の金額並びに回数が少ないためであると思っておりますので、私達も、もっと協力をしなければならないと思っております。

四、七月二十九日、一関社会福祉協議会より師会の奉仕活動が認められ、北峰忠志氏が表彰を受けました。



ハーフマラソンのマッサージ奉仕

五、当師会では、老人ホームに慰問治療をしていますが、二班に別れて一度に二つの老人ホームで年二回慰問を行ないました。

(慰問先 福光園・関生園 月日 六月二十九日、九月一日)

六、一関で行なわれた、第五回一関マスターズハーフマラソンにマッサージ奉仕を行ないました。

当日は、朝九時より午後一時半まで十二人で三百人以上の選手に奉仕を行ない喜ばれ、お礼として金一封のほか、豪華なメダルも記念品として戴き、思い出になる奉仕を致しました。

七、十二月八日、一関医師会長に健保の同意書についてご協力を依頼しましたところ、いずれ理事長にはかるとのご返事でした。

以上、一関師会よりの報告と致します。

## 気仙師会

大船渡、高田、住田では敬老の行事として、九月二十一日（日）に、無料奉仕を行いました。来年も又行ないたいと思っております。

各師会の皆様の御健康を心からお祈り致します。

## 釜石師会

庶務 佐々木 至

当師会は、四月二十七日に総会を開き、老人福祉鍼灸マッサージ治療制度の請願が市議会で採択されたことが報告され、活動は、前年度並みにすることにして閉会しました。



老人ホーム五葉寮玄関前で

老人ホームへのマッサージの奉仕は、七月十三日に五葉寮に行き、三月には、清風園に行く予定です。

此の一年を振り返って見ると、会員の越本トヨさんが逝去され、佐々木信良さんが交通事故に遭い、退院はしたものの自宅療養ですし、釜石市は円高不況のアオリを受け、国の特定不況区域に指定

される等最悪の年でした。

悪夢のような、此のような年は早く忘れようと久し振りに忘年会を開き、大いに飲んで歌い、来る年に希望を託すのでした。

### 越本トヨさんを偲んで

越本さんから、奥さんが入院していて容態が悪いとお聞きしたのは、三月の暖かくなってからで信じられない面もちで家族と直ぐ病院へ駆けつけました。其処でお会いした奥さんは、本当に痩せ細り、かける言葉に窮する程のやつれようでしたが、自分のことよりも馴れない一人暮らしをさせる旦那を頻りに身を案じ、また、私の娘達にオヤツやお小遣いまで下さる気配りをする、何時もの優しさで益々涙を誘うのでした。

私と越本さん夫妻との出逢いは、釜石師会に所属してからで、其の後はよくお邪魔して、何時も御馳走になって居たのです。奥さんは私達夫婦を実の子供のように可愛いがり、私達も実の母のように慕い甘えておりました。

また、奥さんは、長年釜石師会長を引き受けられ、県の副理事長を務める旦那さんの多忙な活動を支える傍ら、仕事にも奔走され、患者さんの厚い信頼を得て、大変お忙しい日々を送って居られました。

私達が御見舞に行っても間もなく面会謝絶になり、四月二十九日、遂に帰らぬ人となったのです。

葬儀は、五月一日、宝樹寺で多くの参加者のもとで、ひめやかに行われました。

私は其処で、六十五年の短い奥さんの生涯を振り返り、旦那さんを独りぼっちにして先立った無念な心と生前の思いやりのある優しさ、素朴な暖かさを、しっかりと胸に刻んで心から御冥福を祈ったのです。

## 宮古師会

師会長 中村 強真

春が恋しい、けだるいような浅い眠り、そんな春の朝が私は恋しい。

さて、私達の師会は今年もまた大揺れに揺れました。それは退会者と休会者とが、会のみんなとの間に考えの相違点があり過ぎたからです。

盲が故に、こうした行動にすぐ出るのであろうか、それとも、もっと奥深い処に原因があるのだろうか。

— 27 —

行事としては、会の会費を補うために、また、お客様に感謝を込めて低料金治療を、消防屯所の二階をお借りして実施しました。当日は五十名程の客がありました。大成功だったと思っています。来年度以降も続けるには問題点があるようです。これが真から成功すれば協同経営も夢ではないと思いました。

その他の行事は、幾つかありますが割愛します。

この他、会員の皆さんに光りと希望を与えたのは何と言っても篠亮さんの入会です。早稲田鍼灸学校を出られた若いバリバリの方です。宜敷くお願い致します。

## 久慈師会

師会長 板橋 トク

昭和六十一年一〇月三・六・八日の三日間、「種市町老人いこいの家」にて社会奉仕を行ないました。会員二人で六〇名程をマッサージいたしました。……報告にて……

## MEMO

### エイズ AIDS って何だ

一九八一年夏、米カリフォルニア州などで男性同性愛者に奇妙な病気が広がっていると報告され、米・国立防疫センターが特別調査班を作って追跡、翌年九月、AIDS（後天性免疫不全症候群）と命名された。

人間の体には、病原体が侵入すると抗体を作り、病気を排除する免疫機能がある。エイズはこの抵抗力が次第に低下していく病気で、免疫の働きが落ちるにつれ、普段は活動できずにいる体内の原虫や寄生虫、細菌、ウイルス、ガンなどが、“反乱”を起し、さまざまな症状をもたらす。

感染しても発病する人は一〜三割といわれるが、発病すると初め発熱を繰り返し、急に体重が低下、体の方々にリンパ腺（せん）が腫れ、疲れやすくなり、下痢が続く。さらに進行すると、呼吸困難になる「カリニ肺炎」、皮膚のガンの一種「カポジ肉腫（にくしゅ）」などの症状が出る。

発病後、三年で四人のうち三人は死亡、五年で九割以上が亡くなるとされる。ワクチンの開発も始まっているが、現在のところ治療薬はなく、いくつかの薬が発病を抑える効果があるとして注目されている段階だ。

— 28 —

### 読売新聞より

#### 7月1日 ハリ・きゅう・マッサージ 療養費一〇円アップ きびしい厚生行政

七月一日より、はり・きゅう・あんまマッサージに係る療養費がそれぞれ一〇円引き上げられることになった。往療料、温あん法、変形徒手矯正術については従来通り据え置かれた。

厚生省は、六月六日付で全国都道府県知事に対して、はり・きゅう及びあんま・マッサージに係る療養費改定の通知を出した。

従来、一術九五〇円のはり・きゅうが九六〇円の一〇円アップということは、一・〇五%、マッサージ一局所一二五円ということは、八%の引上げということになるが、もともと安い単価におさえられている三療にかかわる療養費であるだけに、たった一〇円の改定ということは保険取り扱い者にとっては、大きな不満の残る改定通知である。

しかし、改定されなかったよりもたとえ一〇円でも値上げされたことは、今日までの保険運動の一つの成果であると評価する向きもある。いずれにしても楽しみも夢もない改定である。

厚生省のシビアな姿勢は、三療にかかわる療養費改定だけでなく、柔道整復師の施術に対しても、かなりきびしい通知を出している。

六月六日の療養費改定通知と同時に「保険発第五十七号文書」をもって、次のような適正化を都道府県に要望している。

(1) 施術協定により、施術料金の受け取りについて、受領委任形式をとる場合は、委任状の住所、

氏名、委任年月日は患者の自筆によるものとし、必ず患者の押印を要することとされたいこと。

(2) 施術協定に基づき、患者から一部負担金を徴収した場合は、患者に領収書及び施術明細書を交付させるよう指導すること。

(3) 保険者に対して、特に高額施術、濃厚施術を行っている施術者について、重点的な指導・監査の徹底を行うよう指導すること。

(4) 打撲・捻挫の施術が、初検の日から三ヶ月を超えて継続する場合は、負傷部位、症状、施術の継続が必要な理由を明らかにした理由書を療養費支給申請書に添付させること。

(5) 療養費の支給決定をする際には、適宜、電話等により患者等に施術内容及び施術回数等を照会して、施術の事実確認に努めるよう指導すること。

なお、保険者に対して必要に応じて医療費通知に柔道整復の療養費も含めるよう指導すること。

以上、まことにきびしい通知であり、今迄の行政姿勢が改められ、今後、その取扱いの適正化に鋭い監視と指導が加えられるようになったわけである。

厚生省のこのような締めつけ、監督指導の強化は、今回は柔道整復師の施術に向けられたが、いずれ三療の施術療養費に関しても言及される可能性があると見るべきで、保険取扱いは適正円滑な運用を心がけることが大切である。

— 29 —

	項目	改定	改定前	備考
療 養 費 改 定 表	マッサージ1局所	1 3 5 円	1 2 5 円	
	ハリ 1 術	9 6 0 円	9 5 0 円	初回のみ 1 3 8 0 円
	灸 1 術	9 6 0 円	9 5 0 円	上記に同じ
	1術に電気加療	9 8 0 円	9 7 0 円	初回のみ 1 4 0 0 円
	ハリ灸 2 術	1 3 8 0 円	1 3 7 0 円	初回のみ 1 8 6 0 円
	2術に電気加療	1 4 0 0 円	1 3 9 0 円	初回のみ 1 8 8 0 円

日本鍼灸マッサージ新聞 7月10日号より

## 編 集 後 記

円高不況で会員の皆様には大変な一年だったと思います。会報第十九号を皆様のお陰で発行出来ました。今回もまた点字版を発行出来ないのが残念です。声の会報を御期待下さい。

今年度も、私の妻と阿部さんの二名の会員が死亡しました。一月末には、本会顧問の岩動先生が急死されました。心より御冥福を御祈りいたします。

また、本会顧問の鈴木先生が胃潰瘍再発による検査のため、二月十六日に入院されました。一日も早い御回復を御祈りいたします。

岩手理容・美容学校の理事長の鈴木義雄と言う人が、鍼灸柔整専門学校を設立しようと動いています。こんな企てでは断乎粉碎しなければなりません。

六十二年度は、此の問題に終始することになりそうです。一致団結一丸となって、此の問題に当らなければなりません。頑張りましょう。

昭和六十二年二月十七日

事業部長 越本 政男

— 30 —

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会  
昭和六十一年度会報第十九号  
昭和六十二年三月十五日発行

発行人 理事長 石川 文治  
〒〇二三 水沢市中町一六七  
電話 (〇一九七三) 三-五七二二

編集責任者 副理事長(事業部長) 越本 政男  
〒〇二六 釜石市中妻町二丁目一番二六号  
電話 (〇一九三) 二三-六四三九

事務所 〒〇二〇  
盛岡市箱清水一丁目三六番五号  
下佐 征昭 方

事務局 副理事長(総務部長) 下佐 征昭  
電話 (〇一九六) 六一-六二七七

印刷 青木印刷  
釜石市中妻町二丁目四番二五号  
電話 (〇一九三) 二三-六六八七

(裏表紙)

広 告

## 鍼・灸・用具専門店

.....(取扱品目).....

- 針及び針灸用具
- 消毒装置
- 電気治療器
- 温熱装置
- 治療室開業諸設備
- 物療器具

### 新取扱商品紹介

健康サンダル：足の疲れを取り、毎日を健康に美しく。

特長：リトルアース・ルーミーは足の科学が生んだ、健康増進サンダル。

弾力性に富んだ天然ゴムの突起群〈メディカルライン〉が足の裏から静脈、リンパ管、神経などを刺激し、足と体にさまざまな効果をもたらします。

こんな方におすすめします：足の疲れやすい方、

足の冷えやすい方、

足の運動不足ぎみの方、

足をひきしめたい方。

ルーミー（スリッパ式）内用 @2,900 円

ノンスリッパ（金具付）外用 @2,600 円

ビーチ式（ハナオ付）外用 @2,900 円

(治療院価格有ります。)

ホットベルト：水でホカホカ、ふしぎなベルト。

1回の吸水で、10～14時間保温、しかも繰り返し4～5回OK  
冷え症でお困りの方に。

ホットベルト（腰用） @2,200 円

ケミックホット（腰用スペア） @1,100 円

ホットホルダー（ひじ・ひざ用） @1,800 円

ミニホット（ひじ・ひざ用スペア） @500'円

(治療院価格有ります。)

## 有限会社 ヤマキン

〒034 青森県十和田市大字相坂字相坂 90

電話 (0176) 23-9138

郵便振替（盛岡） 3-597 番